授業科目	＊初年次セミナーⅠ					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	木村　政伸、前田　由紀子、髙橋　甲枝、中原　智美、隅田　由加里						
授業概要	大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場である。基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。本科目は、初年次セミナーⅠ（前期）およびⅡ（後期）で構成されており、大学での学びの質を高めるために必要なスタディ・スキルズを身につけることを目的とする。 初年次セミナーⅠでは、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、本の読み方、問いの立て方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索の方法、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶための技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１．主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を鍛錬・強化できる。（ＤＰ１－１） ２．グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。（ＤＰ３－１） ３．他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べることができる。（ＤＰ３－１） ４．グループ学習において、目標達成にむけて他者と協力し行動できる。（ＤＰ３－１） ５．課題解決のために、探求する姿勢を身につけることができる。（ＤＰ４－１） ６．自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。（ＤＰ４－１） 大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力を身につけ、他者と協働して学ぶ姿勢がみられる。
理想的レベル	大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』　『読む』『書く』『考える』力を身につけ、自ら積極的に課題を探求し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	15%	

その他	35%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU10201J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
・復習:該当部分の復習をする	1

授業計画	
第１回	講義①：大学での学びとは　　（木村） ・大学で学ぶとは ・そのためのスタディ・スキルズとは
第２回	講義②：オリエンテーション　　（木村） ・初年次セミナーについて ・ポートフォリオについて：準備と活用方法（中原）
第３回	グループワーク① ・グループワークの目的、GW の流れ（全教員） （グループ編成・自己紹介 他）
第４回	グループワーク②＜アイデアの収束法　１＞ ・アイデアの収束法（木村） ・KJ 法を用いた収束法の練習（全教員）
第５回	グループワーク③＜アイデアの収束法　２＞（全教員） ・KJ 法を用いてアイデアを構造的にまとめる ・班ごとに１枚の図式を作成し、発表する
第６回	グループワーク④＜アイデアの発表法　１＞（全教員） ・ゼミを４班に分ける ・ディベートの準備 テーマについての賛成・反対意見について根拠を調べ、KJ 法を用いて論点などを整理する
第７回	グループワーク⑤＜アイデアの発表法　２＞（全教員） ・第１回は、４班が２組に分かれて賛否の意見を発表し、討論する ・第２回は、班の構成を変え、１回と異なる立場から賛否を発表し、討論する
第８回	講義③：情報倫理の基本「情報倫理　」（情報課職員） ゼミ別： ・個人ワーク①：グループワーク②～⑤を通しての反省と、これからの課題について自己評価シートを作成する（全教員） ・ポートフォリオの整理・活用（全教員）

第 9 回	講義④：情報収集の基礎　（図書課職員） ・蔵書・文献検索の基本（CiNii Research、 Google Scholar、J-STAGE 他　利用） ・著作権の基本知識 ・文献カードの記載方法　（図書・雑誌 他）
第 10 回	講義⑤：本の読み方・レポートの書き方　（木村） ・文献について ・適切な引用方法について
第 11 回	＜課題レポート（１）＞ 講義⑥ ・課題レポート概要 読解：文献の読み方、「問いをたてる」について説明 ・文献カードの記載法（図書・雑誌など） ・問いを立てる→振り返り（全教員） レポートの書き方・文献カード・引用法振り返り グループワーク⑥：課題発見 個人ワーク② ・課題発見 ・文献を探す/文献検索　（CiNii Research、Google Scholar、J-STAGE 他　利用）
第 12 回	＜課題レポート（２）＞（全教員） 個人ワーク③ ・文献を探す/文献検索　（CiNii Research、 Google Scholar、J-STAGE 他 利用） ・文献を読む ・問いを立て、プロットを組む
第 13 回	＜課題レポート（３）＞（全教員） 個人ワーク④ ・レポート作成(2000 字程度)
第 14 回	＜課題レポート（４）＞ ゼミ別：レポートフィードバック　（全教員） 個人ワーク⑤ ・レポート作成・仕上げ ・要旨の作成　（200～400 字程度）
第 15 回	＜課題レポート（５）＞（全教員） グループワーク⑦ ・グループ内でレポート内容について発表する ・自己のレポートを振り返る 個人ワーク⑥

	・ポートフォリオの整理をする
テキスト	・必要に応じて、講義資料等、印刷物を配布します。 ・ポートフォリオにファイリングして、インデックスをつけて整理しましょう。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・溝上慎一著『大学生の学び・入門』 有斐閣アルマ ・学習技術研究会編著『大学生からのスタディ・スキルズ　知へのステップ』 くろしお出版 ・新谷恭明・折田悦郎『大学とはなにか』 海鳥社
課題に対するフィードバックの方法	学生が提出したものについては、適時添削などを行ったうえでフィードバックする
学生へのメッセージ・コメント	・分野にこだわらず、様々な領域を扱う書籍・芸術・情報に関心を持ちましょう。 ・疑問や興味を持ったテーマについて、図書館などデータベースを活用し、学びを深めましょう。 ・基本的なパソコン操作を修得しましょう。 本セミナーでの学びを充実させるには、自らが進んで課題を探求していく姿勢が大切です。 ・課題以外にも様々なことに興味関心を持ち、自ら学ぶ積極的な姿勢で取り組みましょう。 ・図書館を利用し、主体的に学ぶ学習習慣を確立しましょう。 ・仲間との協働を通じて得る学びは貴重です。グループワークには、意欲的に臨みましょう。